



《2022-2023年度主題》
 国際会長 ウルリック・ラウリドセン (DNK)
 “Let Your Light Shine” (“輝かそう、あなたの光を”)
 アジア太平洋地域会長 チェン・チ・ミン(TWN)
 “Elegantly Change with New Era”
 東日本区理事 佐藤 重良 (甲府21)
 「未来に向けて今すぐ行動しよう」
 湘南・沖縄部長 小松 仲史 (厚木)
 「楽しく・元氣よく・前向きに」
 クラブ会長 今城 高之

2022-2023 クラブ役員
 会長 今城 高之
 直前会長 辻 剛
 書記 岡田 美和
 会計 横田 孝久

今月の聖句

「施すべき相手に善行を拒むな
 /あなたの手にその力があるなら。
 出直してくれ、明日あげよう、
 と友に言うな/あなたが今持っているなら。」 箴言3・27、28

5月度本例会 他

- つづきクラブ本例会
 場所 敦煌 (菊名)
 開始 17:00
 司会 辻 剛 受付 今城宏子
 議事予定
 ①You & I コンサート案内チラシ記載事項等について
 ②本年10月例会の持ち方について、他
- 横浜北YMCA, つるみクラブとの三者懇親会
 場所 敦煌 (菊名)
 18:00 受付開始
 18:15 挨拶 (参加者代表)
 18:25 乾杯
 19:00 参加者紹介
 20:25 閉会挨拶
 記念撮影
 20:30 閉会

《巻頭メッセージ》 母の思い出 辻 孝子

私 は父の仕事の関係で清津市 (今は北朝鮮) で4人兄弟の末っ子として生まれました。第2次世界大戦が始まり日本に引き揚げ東京青山に住んでいたある日、母が「隅田川」という歌を口ずさんでいました。「權のしずくも花と散る」という部分を私が「どういう意味？」と尋ねると母が優しく説明してくれたことを映画のワンシーンのように覚えています。



戦争が激しくなり群馬県渋川に疎開しました。母はとても美しい女性だったので田舎では「掃きだめに鶴」と騒がれたようです。東京生まれ東京育ちの母の希望で終戦の翌年すぐに東京に戻り母は知り合いを訪ねることもなく、すぐに床につき結核で夏に亡くなりました。

私は8歳でした。夏休みが終わってクラス全員が水の入っていないプールの中で遊んでいたとき担任の先生が「佐口 (旧姓) さんのお母さんが8月8日に亡くなりました。」と言われたとき葬儀でも泣かなかった私の目から涙がポロリとコンクリートの上に落ちたのを覚えています。

また、中学の時、「母の日礼拝」の日、みんなが赤いカーネーションを胸につけるのに私だけ白いカーネーションをつけさせられてとてもいやでした。その日は毎日一緒に帰っている友達が母親と連れ立って帰って行くのを私は校舎の窓から淋しく眺めていました。

高校の時はまわりの友達がきれいな布で包まれた彩り美しいお弁当を持ってくるのに、私はお手伝いさんが作るお弁当なので新聞紙に包まれた前の晩のすき焼きが一面に乗っているものだったりして、年頃の女の子としてはとても恥ずかしいものでした。その思い出から娘のお弁当は朝早く起きて頑張ってつくりました。私も結婚して娘が生まれ母の死んだ38歳になったとき、「えっ、母はこんなに早く4人の子供を残して死んだの。さぞかし無念だったろう」とあらためて心から母がとても可哀そうに思いました。



4月のデータ	例会出席	14名	在籍会員数	16名	各種記録	月実績	年度累計
	メンバー	12名	月間出席者数	12名	スマイル	0円	45,000円
	ビジター	0名	メ・キャップ	1名	—	—	—
	ゲスト	2名	月間出席率	81%	—	—	—

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《例会報告》

2023年4月本例会

報告者：坂口直樹

日時：2023年4月28日（金）17:30～19:30

場所：かけはし都筑

司会：横田 孝久 受：坂口 直樹

出席者：相賀昇、今城高之、今城宏子、大野君枝、
岡田美和、鴨下純久、坂口直樹、鈴木恭子、
鈴木茂、辻 孝子、辻 剛、横田孝久
(ゲスト) 川越正孝、高松満至 (計14名)

=次 第=

1. 開会点鐘 会長

2. ワイズソング・ワイズの信条 一同唱和

3. 今月の聖句と祈禱 相賀チャプレン

4. 会長挨拶・ゲスト、ヴィジター紹介 会長

- ・コロナが終息しつつあるが、近親者でコロナ罹患者もでていて、まだ気を緩めると襲ってくるので気を緩めないでいただきたい。
- ・本日の卓話者は川越正孝さんで、がんの早期発見にもつながる「全ゲノム解析」について卓話をお願いしました。
- ・最近話題になっているChatGPT（インターネット上の高度なAI技術によって、人間のように自然な会話ができるAIチャットサービス）でゲノム解析を検索してみた。すぐに解説が表示されびっくりしたが、間違いもあるので使い方に気を付ける事が肝心と思った。5月15日 東日本区のChatGPTセミナーが開催されるので興味ある方は参加してみてください。
講座名「ChatGPT講座 ～チャットGPTとはどんなものなのか？」
日時 5月15日 午後7時～8時半
希望者は各自で申し込んでください。

5. 卓話：川越 正孝さん

テーマ「がんの全ゲノム解析」

略歴 九州大学理学部卒、同修士課程修了、千葉大薬学部研究生、医薬品開発研究（@帝人）ほか臨床検査事業、医療機器の製造管理、品質保証責任者等を歴任、
田園江田教会会員

(概要)

日本で12か所ある「がんゲノム医療中核拠点病院」でのゲノム解析の現状についてご講演をいただいた。ゲノム解析でがんの潜在的発がんDNAが発見されるようになってきたが、二次的初見の開示に関する議論が始まっている。

7. 協議・報告事項

- ①5月本例会 例会は17時から開催し、18時から敦煌において三者交流会を開催。式次第が配布された。
- ②You & I コンサートについて
本年度も横浜室内合奏団の佐藤先生にご出演いただくこと快諾いただいた。
7月チラシ作成、8月キックオフで進める。
横浜北YMCA鴨下さんから、チラシの障がい者の記述についてYMCAスタッフのご意見の紹介があり今後検討することとなった。
- ③ 今後のスケジュールについて

8. YMCA 報告 鴨下館長

4月9日 北YMCA森山さんの受洗報告。

5月27日 横浜YMCA会員総会がハイブリッド方式で行われる。

9. Happy Birthday

9日 鈴木 恭子さん

17日 福島 佐世子さん

10. アピール・スマイル、その他連絡事項

会長から、今後の卓話者探しのご協力依頼があった。また、横浜北Y関連の十日市場地域ケアプラザでのウクライナ避難民対応について卓話を依頼する提案があり辻さんが打診することになった。

11. 閉会点鐘 会長

※閉会后、最寄りのイタリアンレストランで会食・懇談。
以上



《例会報告》

2023年5月度事務例会

クラブ書記 岡田 美和

日時：2023年5月9日（火）17:00~19:00

会場：田園都筑教会

司会：今城高之会長 報告：岡田美和書記

出席者：今城高之、岡田美和、鴨下純久、
鈴木恭子・茂、辻孝子・剛孝子・剛、横田孝久

1. 開会点鐘・黙祷 今城高之会長
2. 会長挨拶 今城高之会長
3. 審議・検討事項
 - 1) ポストコロナの会議運営、プログラムについて
 - ①例会開会時間は従来通り17:00とする
 - ②例会開催場所は、本例会を「かけはし都筑」、事務例会は、利便性を優先して毎回「夢Café」とする。
 - ③休止中のプログラムについて
 - ・東日本被災地支援について、高齢者施設、保育所訪問は引き続き見合わせる。
 - ・お誕生日カードは今まで通り続ける。
 - ・調理ボラについては、グループホーム側の都合を確認し、希望があれば始めるが、今のところ見合わせる。
 - 2) 今後のプログラムについて
 - ①5月の本例会：三者交流会（5/26）については前回の報告を参照。
 - ②6月の年度最後の例会は鈴木茂さん（YMCA史学会理事）による講演を聞きYMCA理解促進を図る。
 - ③7月新年度最初の本例会は総会・キックオフ例会。
 - ④持ち寄り納涼会について
8月本例会に併催。場所は夢Caféとする方向で今後再度話し合うこととした。

⑤「You & I」コンサートのキックオフ会議は、これまでと同じく、8月本例会と併催する方向で検討する。

⑥秋の移動例会、富士山例会の実施方法について交通手段、宿泊、バーベキュー等々について意見交換した。

- 3) 今後のYMCA活動への参加について
 - ・会員総会：5/27
 - ・AIDS文化フォーラム：8/4~8/6
 - ・YMCAフェスタ ～私達会員の集い～：9/23
 - ・第26回インターナショナルチャリティーラン：10/14
 - ・北Yまつり：11/3
 - ・会員大会・ピースフォーラム：2/12、等への参加を検討する
- 4) アピール・報告
 - ①かけはし都筑使用登録書の交付について
都筑区社協より、当クラブが「かけはし都筑」を活動拠点とすることの決定通知が交付された。令和5年から2年間有効。当会の使用登録番号は「A-13」
(所属：A・福祉健康ボランティア団体)
 - ②YIA献金について：いろいろ話し合ったが、今回は見送る。
 - ③オープンフォーラムYについて
5月20日（土）10:00~17:00
日本YMCA同盟会館（四谷）
4. 黙祷・閉会点鐘にて閉会
閉会後は中華レストラン（一心）にて会食。

(完)

《報告》東日本区チャットGPT説明会

以下は、東日本区ITアドバイザーが主催したChatGPT説明会の様子につき筆者が口頭で行った30秒程度の報告を、WORDの「ディクテーション」機能に聞き取らせ、文字化し、それをChatGPTで報告書形式にリライトさせたものです。口頭の報告自体、準備なしの稚拙なものであったため、ChatGPTのアウトプットもごく簡単な報告ですが、最近のSNS技術、パソコンの性能等につき、認識を新たにしたい感があります。今後、これらの新技術を活用するか否かによって我々の生活も大きく変わるものと思われま。

「報告書

日付：2023年5月15日 主催者：東日本区 IT チーム

イベント名：チャットGPTについてのオンライン説明会

報告：本日、東日本区 IT チーム主催のオンライン説明会が開催されました。このイベントでは、最新の技術であるチャットGPTについて専門家のお話を伺い、さまざまな質問をしました。チャットGPTは、SNSを利用する最新技術の一つであり、我々の生活においてどのような意味を持つのか、またどのように活用すれば良いのかについての解説が行われました。専門家から、チャットGPTの特徴や潜在的な可能性について説明されました。参加者は積極的に質問し、チャットGPTの応用方法や倫理的な考慮事項について意見を交換しました。専門家は丁寧に回答し、参加者の疑問や関心事に対して詳細な説明を行いました。このオンライン説明会を通じて、参加者はチャットGPTの可能性についてより深く理解し、個人や組織での活用方法について考える機会を得ました。今後も、このようなイベントを通じて新しい技術の普及と活用に向けた情報交換を進めていく予定です。」（今城高之 記）

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《特別寄稿》

東日本区定款改定の経緯 ～その1～

元東日本区定款改訂委員会委員長 辻 剛 (つづきクラブ)

現行定款の誕生（1996年-2003年）（注）
1996年1月、「日本区東西分割案」（太田太日本区理事・東京多摩）が承認され、1997年7月新リジョン（東日本区）がスタートすることになった。同年3月「東日本区準備委員会」（奈良昭彦委員長・東京八王子）が設置され、そのもとで「定款改正小委員会」が設置され、それまでの日本区定款の改正を最小限にとどめた（暫定的な）定款案を代議員会で承認を受け制定、同年7月国際議会の承認を受けた。

1997年7月、東日本区（鈴木健次理事）がスタートしたが、奈良昭彦委員長は、（暫定的な）定款を全面的に見直す方向で検討を進めた。その後、検討・修正を重ねた「改訂案」が1998年6月、代議員会で承認を受けたが、同年12月5日の臨時代議員会で否決されてしまった。

振り出しに戻った定款の検討は、「東日本区定款問題検討委員会」を経て、「定款検討委員会」（十河弘委員長・宇都宮）が設置され、2000年3月、「現行東日本区定款は改定すべし」と答申した。

2000年10月、答申を受けて、第4代服部幸一理事（東京）は、「東日本区定款改正委員会」（清水弘一委員長・仙台青葉城）が設置され、改正案を理事に答申した。この改正案は、第1回（2001年6月2日）、第2回（同年7・8月 郵便投票）の代議員会で承認された。

2001年および2002年に、第5代小原武夫理事（東京世田谷）は、直ちに国際議会で申請し、承認された。

2003年7月1日、このような紆余屈折を経て、現行定款は、第7代櫻村好夫理事（富士）の就任と同時に発行した。

（注）以上、「東日本区10年の歩み」-区定款改定の経緯- から抜粋。

諸規定などの整備（2007年-2012年）

2006-2007年度は、東日本区が誕生し10年目を迎えた。文献委員会（清水弘一委員長）は、2003年の定款改訂に伴う諸規定の整備やマニュアル類の改訂作業を進めてきたが、定款そのものでなく、施行細則の改訂などが中心だった。

2009-2010年度第3回区役員会（2010年4月10日・11日）にて、文献委員会（上谷喜謙委員長・東京グリーン）は、「現行の東日本区施行細則の中には、現在の運用と矛盾している記載がみられるので、この際、実際の運用に合わせて改正したい」と提案し承認された。

2011年9月に東日本区の会計上の不祥事が発覚した。

2012年6月、「東日本区健全化委員会」（吉田明弘委員長・東京西）が設置され、区会計上の不祥事の再発防止と区の組織・運営・制度の健全化について、問題点を整理し、検討を重ねた。同年8月25日、駒田勝彦理事（甲府21）に50項目にわたる「答申案」を提出した。定款に関するものとしては、「定款・諸規則の改訂について」（45）「必要に応じて定款、細則、諸規定の改訂をおこなう」、（46）「急を要するものは、ガイドライン（解説）の変更、追加で対応する」、（47）「法人化に伴う定款変更は、別途検討する」などであった。2012年9月14日、この答申を受けて、駒田理事は、文献・組織検討委員会に対して以下の諮問を行った。「1. 『定款・諸規則の改訂について』①常任役員会の合意方法の件、②代議員会に関する委任状および代理出席議決採決の件、2. 『法人化について』法人化の研究、検討を行い、各種法人のメリット、デメリットおよび東日本区に適する法人の提案」。ここで2003年の定款改正以降初めて一部とはいえ定款についての改訂に対する具体的な動きが出てきた。

2013年2月18日（2012-2013年度）、文献・組織検討委員会は、「定款改訂」および「法人化の研究、検討」について駒田勝彦理事に答申した。

「答申」内容

常任役員会の合意方法の件についての答申は以下のとおり。「東日本区第7条常任役員会に関する『常任役員会の全員の合意』を『全員の合意を得られない場合は多数決とする』」

健全化委員会は、「法人化」について「（44）東日本区が、法的に権利と義務との主体になるために、『法人化』を目指す。法人化の研究、検討を行うため、期限を定めた委員会を発足させる。」と答申した。駒田理事の諮問はこれを受けたものである。文献・組織検討委員会は、7回にわたり委員会を開催して都庁生活文化部都民生活部管理法人課NPO法人係にも意見を聞くなどして検討したが、最終的には次のような答申を行った。「現時点で文献・組織検討委員会として、NPOにしても社団にしても東日本区に適した法人の推薦・提案は得られなかった。ただし、今後の社会の動向、東日本区の状況を見ながら検討は行うべきとの考えから、『継続審議とする』ことを結論とした。」

「健全化」を単に「再発防止」策として矮小化した中で法人化問題を議論したため「実行しないための理由探し」が先行した。本格的な定款改訂作業を後日に控えて新しい組織に生まれ変わるチャンスを逸してしまった。

（以下次号へ）

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《お便り》

毎月、TKBの仕事会が作るバースデーカードをお届けしている、宮城県山元町の“つばめの杜保育所”より、クラブ被災地支援担当の辻 剛さん宛てに以下のお便りが届きました。

横浜つづきクラブ
辻 剛 様

心地よい五月晴れの折から、お元気にお過ごしのことと存じます。
今年も素敵なお誕生カードを送っていただきまして、ありがとうございます。
4月の誕生会では、カードをもらった子ども達がとても嬉しそうにしていました。
私たちも、今月はどんなカードが届くのかな〜♪と毎月楽しみにしております。いつもありがとうございます。

追伸

この度、3月末日をもちまして作間所長が退職となり、後任として高橋になりましたこと、略儀ではございますがメールにてご挨拶申し上げます。

今後ともよろしくお祈いします。
つばめの杜保育所 高橋



《TKB便り》

5月のお仕事会では、東日本大震災被災地の高齢者施設と保育所に贈るバースデーカードを作りました。
カードを飾る折り紙は、兜とショウブの5月100%のもの采用了。
忙しく手を動かしつつも、楽しいおしゃべりの時が流れました。前もって折り紙を準備くださる林ひろ子さんに感謝です。

TKB: Tsuzuki Kawaii Bachans

今後当面の行事予定 (5~12月)

開催日	時間	イベント名	場所等
5月20日(土)	10:00~17:00	オープンフォーラムY	YMCA 同盟・Zoom
5月26日(金)	15:30~20:30	クラブ本例会・三者懇親会	敦煌(菊名)
5月27日(土)	14:00~16:40	横浜YMCA会員総会	聖光学院・L配信
8月4~6日		AIDS文化フォーラム	かながわ県民センター・L配信
9月23日(土)		YMCAフェスタ	横浜とつかYMCA
10月14日(土)		#26 チャリティーラン	臨港パーク
10月27日(金)		移動例会(仮)	
11月3日(金)		北Yまつり	横浜北YMCA
11月18日(土)		You & I コンサート	都筑公会堂
12月16日(土)		横浜YMCAクリスマス礼拝	

※本年内に予定されているイベントの一覧です。塚、へろん高騰がある際は予めお知らせいたします。当クラブに関りの深い

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

2022年4月に横浜YMCAにまいりまして、早一年。このブリテンのYMCA便りも4回目となりました。今までの原稿を読み返すと、5月はワクワクしている気持ちがあふれる自己紹介、9月は夏のキャンプでテーマにした社会問題となっているデジタル依存について、1月は職場体験の中学生との関わる上での2つの心がけについて寄稿いたしました。

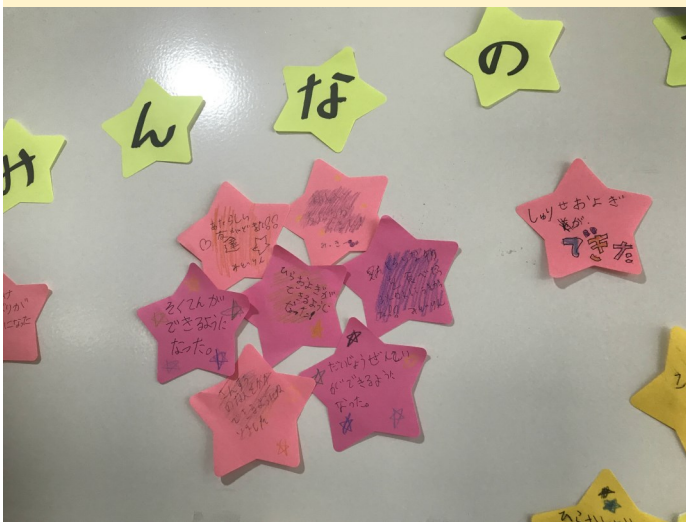
今回は、横浜北YMCAで新たに取り組んでいる「**みんなのできた**」プロジェクトについてご紹介します。きっかけは、昨年の主任会での鴨下さんのアイデアでした。「25m泳げるようになった」「逆上がりができるようになった」そのような瞬間を動画に取って発信したらどうか。

そこからプロジェクトを計画し、主たる目的を、「YMCAは人が育つ場所であり、自分の成長も友達の成長も、共に喜び

合える気持ちを育むこと」としました。以前、某スポーツクラブのチラシに「この夏、ライバルに差をつけよう」というタイトルがありました。ライバルに負けないと切磋琢磨して成長するのは、私自身、高校時代の部活を振り返っても実感するところですが、しかし、失敗体験が多く自信がない子や、生まれながらに発達課題があり、周囲よりもゆっくりと成長するタイプの子を想像するとどうでしょうか。また、「私はあの子よりもできている、できていない」と常に他者と比較した自分を考えると、行き過ぎた能力主義や、能力で人の価値に優劣をつける価値観が社会に広がるのではと危惧してしまいます。私たちは、自分のできたことだけでなく、友だちのできたことも共に喜び合えるような大切な気持ちや価値観を広げていきたいと思っています。

第1弾は、星型のカードにできたことを記入し掲示しています。今日も1フロアでは、嬉しそうにメッセージを書く姿や、

掲示されている星を親子で眺めている微笑ましい姿があふれています。今月中旬から第2弾と新たな取り組みをまいります。北YMCAにお越しの際は、是非ご覧ください！（了）



《会長のひとこと》

今年度も後1か月を残すのみとなりました。コロナで明けた年度ではありましたが、ここにいたり、コロナ収束の兆しも見えはじめ、行政の対応も、一般の感染症と同等のものとなりました。新年度からは、以前同様の活動が出来ることになるものと期待されます。新年度を迎えるに際して、メンバーの皆様には、それぞれのスキルやご関心を生かした取り組みをお願いしたいと思います。役割分担を行う際には、率先して役割を担って下さるようお願いいたします。また、新しいクラブ活動についてのご提案も大歓迎です。一人では難しくても、クラブの総力を挙げればなんとかなることをこれまでも経験して参りました。クラブのバックボーンとなるような、伝統となるような新しいプログラムを是非ご提案ください。今年度初めにご提唱したように、皆で語りあえば必ずや良き道が見つかることを信じて。

コロナの扱いが変わったとはいえ、コロナが消滅した訳ではありません。お互いに健康に留意し、楽しい日々が過ごせますよう！

▽今回もまた、予定の発行日に完成しない、反省と自己嫌悪のひと時を過ごしています。あと一息、といったところで、紙面が埋まらない、その繰り返しです。▽とは言いつつも、ブリテン発行業務に携わり続けているのは、ひよっとして編集作業が好きだったのか？との錯覚に陥ることもしばしばです。▽さて、辻剛ワイズから頂いていた寄稿文の掲載を開始いたします。辻さんが委員長を勤めていた区の文献組織検討委員会が行った「定款改定」作業の報告書で、何れは区の年史に掲載されるものを先出で頂きまして。長文なので何回かに分けて掲載します。我々一般会員にとって、如何程かわりがあるのかは分かりませんが、我々のクラブが所属する区の存在の根幹をなすものと理解し、ご一読いただきますよう。（編集子）

〇〇〇編集後記〇〇〇

“To acknowledge the duty that accompanies every right”